

中学歴史プリント（過去問類似）

飛鳥時代

名前

得点

/10

問1 日本の歴史における主な出来事を時系列順に整理したとき、7世紀中頃に中大兄皇子らが中心となって進めた、天皇中心の国づくりを目指す一連の政治改革にあたるものはどれか。 (2022年 青森県公立入試 類似)

1. 大化の改新 2. 聖徳太子の政治 3. 聖武天皇の仏教政策 4. 桓武天皇の平安京遷都

問2 飛鳥時代に聖徳太子が定めた十七条の憲法では、役人が守るべき心得が示されています。この憲法において、人々が争いをやめ協力し合うための「和」の精神とともに、篤く敬うべきものとして挙げられている「三宝（さんぼう）」の具体的な内容はどれですか。 (2026年 奈良公立入試 類似)

1. 仏（ほとけ）・法（みのり）・僧（ほうし） 2. 儒教・仏教・道教 3. 天皇・和・詔（みことり） 4. 礼・義・信

問3 飛鳥時代における歴史的事項を記した年表において、672年に「壬申の乱」が起こったとの記載があります。この乱に勝利し、その後に即位して天皇中心の中央集権体制をさらに進めた人物は誰ですか。 (2024年 高知公立入試 類似)

1. 天智天皇 2. 天武天皇 3. 推古天皇 4. 後三条天皇

問4 7世紀の飛鳥時代、日本（倭）は百済の復興を支援するために朝鮮半島へ大軍を派遣しましたが、白村江の戦いにおいてある2つの国の連合軍に大敗しました。この時、日本が対戦した連合軍の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。 (2018年 富山県公立入試 類似)

1. 唐と新羅 2. 隋と高句麗 3. 元と高麗 4. 宋と新羅

問5 西暦による歴史の時代区分において、西暦601年から西暦700年までの100年間を指す名称として正しいものを選びなさい。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)

1. 5世紀 2. 6世紀 3. 7世紀 4. 8世紀

問6 天武天皇が進めた政策のうち、国家の正当性を示し、天皇の権威を強化する目的で行われた事業として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 大阪公立入試 類似)

1. 国家の歴史を体系的にまとめるため、『日本書紀』や『古事記』の編纂を開始させた。 2. 仏教の力で国家の混乱を鎮めるため、東大寺の大仏造立や全国への国分寺建立を命じた。 3. 律令制度を完成させるため、日本で最初の本格的な法律である大宝律令を制定した。 4. 新しい政治の形を整えるため、唐の長安をモデルとした平城京への遷都を断行した。

問7 607年に小野妹子が遣隋使として中国の隋へ派遣された時期の日本の様子について、法隆寺が建立されるなど、現在の奈良県にある飛鳥地方を中心に栄えた、日本で最初の本格的な仏教文化を何と呼ぶか。 (2017年 佐賀公立入試 類似)

1. 飛鳥文化 2. 天平文化 3. 国風文化 4. 弘仁・貞観文化

問8 飛鳥文化を象徴する法隆寺に関する記述として、歴史的背景を含めて説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2024年 三重公立入試 類似)

1. 世界最古の木造建築として知られ、大陸の技術を取り入れながら日本の仏教文化の基盤を築いた。 2. 聖武天皇が国ごとに建立を命じた国分寺の総本山として、国家の保護を受けて発展した。 3. 奥州藤原氏によって東北地方に建てられ、浄土信仰に基づく金色の建築様式が特徴である。 4. 最澄が比叡山に開いた天台宗の拠点であり、平安時代以降の仏教の発展に大きく寄与した。

問9 7世紀前半に法隆寺の造営や釈迦三尊像の制作が行われた背景として、当時の政治的な動きを説明したものとして適切なものはどれか。 (2018年 大分県公立入試 類似)

1. 聖徳太子（厩戸王）や蘇我氏が仏教を重んじ、国家の基盤を整えようとした。 2. 白村江の戦いでの敗北後、国防を強化するために寺院を砦として活用しようとした。 3. 班田収授法によって税収が安定したため、大規模な国立の寺院を全国に建立した。 4. 遣唐使が廃止され、日本独自の文化を形成しようとする機運が貴族の間で高まった。

問10 7世紀後半、天智天皇の死後にその跡継ぎをめぐる大海人皇子と大友皇子が争った、古代最大といわれる内乱はどれですか。 (2026年 三重公立入試 類似)

1. 壬申の乱 2. 壬生の乱 3. 保元の乱 4. 平治の乱

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大化の改新	645年に中大兄皇子（後の天智天皇）と中臣鎌足らが蘇我氏を倒した乙巳の変に始まり、唐の制度を取り入れて進められた一連の改革を指します。豪族が土地や人民を私有するそれまでの体制を改め、天皇を中心とする中央集権国家の建設を目指しました。
問2	答え 1 仏（ほとけ）・法（みのり）・僧（ほうし）	十七条の憲法は、豪族たちが争うのをやめ、天皇を中心とした国家体制を整えることを目的として制定されました。第二条に記された「三宝」とは、仏教の根本である「仏（ブツ）」「法（教え）」「僧（集団）」を指します。聖徳太子は、これらを敬うことが正しい政治や道徳の基盤になると考え、仏教の教えを政治に取り入れました。
問3	答え 2 天武天皇	672年に起こった壬申の乱は、天智天皇の死後にその弟の大海人皇子と、子の大友皇子が皇位をめぐる対立した古代最大の内乱です。この戦いに勝利した大海人皇子が天武天皇として即位しました。天武天皇は、飛鳥浄御原令の編纂に着手したり、国史（古事記・日本書紀）の編纂を命じたりするなど、天皇の権力を絶対的なものにするための政策を次々と打ち出しました。
問4	答え 1 唐と新羅	663年、日本は同盟関係にあった百済を助けるために水軍を派遣しましたが、白村江（はくすきのえ）において、当時朝鮮半島で勢力を拡大していた新羅と、それを支援する唐の連合軍に敗北しました。この敗戦により、日本は朝鮮半島における拠点を完全に失うこととなりました。隋は白村江の戦いの以前に滅亡しており、元や高麗は中世（鎌倉時代）の勢力です。
問5	答え 3 7世紀	歴史上の世紀の数え方は、1世紀を1年から100年までと定義します。これに従うと、601年から700年までの期間は7番目の100年間となるため、7世紀と呼ばれます。西暦の百の位の数字に1を足すと、その年が何世紀かがわかります。
問6	答え 1 国家の歴史を体系的にまとめるため、『日本書紀』や『古事記』の編纂を開始させた。	天武天皇は、壬申の乱を経て確立した自らの政権の正統性を国内外に示すため、国家の歴史編纂を命じました。これが後に『古事記』や『日本書紀』として完成します。また、この時期に「天皇」という称号や「日本」という国号が本格的に使われ始めたと考えられており、これらは中央集権体制を象徴する重要な動きとなりました。
問7	答え 1 飛鳥文化	6世紀末から7世紀前半にかけて、聖徳太子や蘇我氏が仏教を保護したことで成立した文化です。遣隋使の派遣などを通じて、中国（隋）や朝鮮半島の進んだ技術や思想が取り入れられました。この時期の代表的な建築物として、世界最古の木造建築である法隆寺が挙げられます。
問8	答え 1 世界最古の木造建築として知られ、大陸の技術を取り入れながら日本の仏教文化の基盤を築いた。	法隆寺は7世紀初め、聖徳太子（厩戸皇子）の指導のもとで建立され、日本における初期の仏教興隆を象徴する存在です。他の選択肢は、東大寺（奈良時代・聖武天皇）、中尊寺（平安末期・藤原氏）、延暦寺（平安初期・最澄）に関する説明であり、時代背景や建立の主体が異なります。
問9	答え 1 聖徳太子（厩戸王）や蘇我氏が仏教を重んじ、国家の基盤を整えようとした。	当時の有力な政治指導者であった聖徳太子や蘇我馬子は、新しく伝来した仏教を積極的に受け入れ、それを国の統治の理念や新しい技術の導入に役立てようと考えた。この政治的な背景が、飛鳥文化という大規模な仏教文化の開花につながった。
問10	答え 1 壬申の乱	天智天皇が亡くなった後、その弟である大海人皇子と、子である大友皇子の間で後継者争いが起こりました。これが672年の壬申の乱です。勝利した大海人皇子は天武天皇として即位し、中央集権化をさらに推し進めることとなりました。